

平成 28 年度化学物質環境実態調査の実施方針（案）

平成 27 年 12 月 22 日
環境保健部環境安全課

環境省の化学物質関連施策に活用されるよう、担当部署から対象とする物質及び媒体についての要望等を踏まえ、調査を行うこととする。

要望を受けるに当たり、毒性等の知見に基づき各施策上の一定の判断基準として「要求検出下限値」を設定し、その下限値を満たすように分析法を開発する。その上で調査を実施することにより、調査結果が不検出であっても各施策において環境リスクが低いことを意味する結果として活用できるなど有効活用されるよう配慮するものとする。

調査目的に応じ、「初期環境調査」、「詳細環境調査」又は「モニタリング調査」に分類し、平成 21 年度に開催した「化学物質環境実態調査のあり方検討会」での検討結果を踏まえ、調査対象物質の特徴を考慮した調査地点、調査日数及び回数、調査検体（生物種等）等を選定し環境測定を実施する。

別添 1：平成 27 年度に分析法開発を行っている物質

別添 2：平成 28 年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

別添 3：平成 28 年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

平成 28 年度の初期・詳細環境調査は、別添 1 のうち分析法が確立した物質と別添 2 の物質を対象として実施する予定。

平成 27 年度に分析法開発を行っている物質

単位 水質:ng/L、底質:ng/g-dry、大気:ng/m³、生物:ng/g-wet

No.	調査物質名	調査媒体	分析法	要求下限	要望施策
1	<i>o</i> -アニシジン	大気	GC/MS	40	環境リスク 初期評価
2	アニリン	水質	GC/MS	14	化審法
3	1-アミノ-9,10-アントラキノン	底質	LC/MS	0.02	化管法
4	-アルキル- -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (アルキル基の炭素数が 9 から 15 までのもの。) (別名:ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル)	水質	LC/MS	560	化審法
5	アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(アルキル 基の炭素数が 10 から 14 までの直鎖のもの。) (別名:LAS)	底質	LC/MS	0.056	化審法
		生物	LC/MS	6.7	
6	安息香酸ベンジル	水質	GC/MS	0.014	化審法
		底質	GC/MS	0.0016	
		生物	GC/MS	0.0027	
7	(<i>R</i>)-4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサ-1- エン (別名:リモネン)	水質	GC/MS	0.0070	化審法
8	2-イミダゾリジンチオン	水質	LC/MS	0.1	環境リスク 初期評価
9	エチルアミン	水質	LC/MS	0.94	化審法
10	[3-(2-エチルヘキシルオキシ)プロピルアミン]トリ フェニルホウ素(III)	水質	LC/MS	0.000054	化審法
11	エチレンオキシド	水質	GC/MS	50	化審法
12	エチレングリコール (別名:1,2-エタンジオール)	水質	GC/MS	11	化審法
13	1,2-エポキシ-3-(トリルオキシ)プロパン	水質	LC/MS	0.28	化管法
14	キシレン	水質	GC/MS	0.26	化審法
		生物	GC/MS	4.5	
15	クロロ酢酸 (別名:モノクロロ酢酸)	水質	LC/MS	0.033	化審法
16	クロロ酢酸ナトリウム	水質	LC/MS	1.5	化審法
17	3-クロロ-2-プロペン-1-オール	水質	LC/MS	0.0056	化審法
18	3-クロロ-2-プロペン酸	水質	LC/MS	0.0056	化審法
19	クロロメタン	水質	GC/MS	140	化審法

単位 水質:ng/L、底質:ng/g-dry、大気:ng/m³、生物:ng/g-wet

No.	調査物質名	調査媒体	分析法	要求下限	要望施策
20	4,4'-ジアミノ-3,3'-ジクロロジフェニルメタン	水質	GC/MS	0.74	化審法
		生物	GC/MS	1.2	
21	シアン化水素	大気	LC/MS	500	大気環境
22	ジクロフェナク	水質	LC/MS	0.001	PPCPs
23	シクロヘキサ-1-エン-1,2-ジカルボキシイミドメチル=(1 <i>RS</i>)= <i>cis-trans</i> -2,2-ジメチル-3-(2-メチルプロパ-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート (別名:テトラメトリン)	水質	LC/MS	0.000037	化審法
24	2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン	水質	GC/MS	0.025	化管法
25	<i>p</i> -ジクロロベンゼン	底質	GC/MS	0.017	化審法
		生物	GC/MS	1	
		大気	GC/MS	7,500	
26	2,4-ジニトロアニリン	水質	GC/MS	0.96	化管法
27	ジフェニルジスルファン (別名:ジフェニルジスルフィド)	水質	GC/MS	0.007	環境リスク 初期評価
		大気	GC/MS	30	
28	<i>N,N</i> -ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド(アルキル基が直鎖であり、かつ炭素数が 10、12、14、16 又は 18 のもの)、(<i>Z</i>)- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9-エン-1-アミン=オキシド若しくは(9 <i>Z</i> ,12 <i>Z</i>)- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9,12-ジエン-1-アミン=オキシド	水質	LC/MS	0.017	化審法
29	<i>N,N</i> -ジメチルプロパン-1,3-ジイルジアミン	水質	LC/MS	0.59	化管法
30	3,3'-ジメチルベンジジン (別名: <i>o</i> -トリジン)	大気	LC/MS	80	環境リスク 初期評価
31	セルトラリン	水質	LC/MS	0.024	PPCPs
32	テトラエチルチウラム=ジスルフィド (別名:ジスルフィラム)	水質	LC/MS	0.012	化審法
33	1-ドデカノール	水質	GC/MS	0.1	化審法
34	トリエタノールアミン	水質	LC/MS	0.23	化審法 化管法
35	トリナトリウム=2,2',2''-ニトリロトリアセタート	水質	GC/MS	2	化管法
36	トリフェニルホウ素(III)	水質	LC/MS	0.00003	化審法
37	(<i>E</i>)-4-(2,6,6-トリメチルシクロヘキサ-1-エン-1-イル)プタ-3-エン-2-オン (別名:ヨノン)	水質	GC/MS	0.37	化管法
38	1,2,4-トリメチルベンゼン	底質	GC/MS	0.00033	化審法
		生物	GC/MS	0.012	

単位 水質:ng/L、底質:ng/g-dry、大気:ng/m³、生物:ng/g-wet

No.	調査物質名	調査媒体	分析法	要求下限	要望施策
39	ナフタレン	水質	GC/MS	0.0011	化管法
40	2-ナフチルアミン	大気	GC/MS	1	環境リスク 初期評価
41	ニトリロ三酢酸	水質	GC/MS	26	化審法
42	<i>m</i> -ニトロトルエン	水質	GC/MS	0.74	化管法
43	<i>p</i> -ニトロフェノール	水質	LC/MS	0.22	化管法
44	二硫化炭素	水質	GC/MS	1.3	化審法
		生物	GC/MS	0.081	
45	-(ノニルフェニル)- -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (別名: (別名:ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル))	底質	LC/MS	0.00058	化審法
46	パロキセチン	水質	LC/MS	0.11	PPCPs
47	ビス(<i>N,N</i> -ジメチルジチオカルバミン酸) <i>N,N</i> -エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) (別名:ポリカーバメート)	水質	LC/MS	0.0091	化審法
		底質	LC/MS	0.00078	
48	(<i>Z</i>)- <i>N,N</i> -ビス(2-ヒドロキシエチル)オレアミド	水質	LC/MS	0.114	化審法
49	(1-ヒドロキシエタン-1,1-ジイル)ジホスホン酸	水質	LC/MS	16.7	化管法
50	プロパン-1,2-ジオール (別名:1,2-プロパンジオール)	水質	GC/MS	96	化審法
51	ブロモメタン (別名:臭化メチル)	水質	GC/MS	0.003	化審法
52	ヘキサメチレンジアミン	大気	LC/MS	55	環境リスク 初期評価
53	ホルムアルデヒド	水質	GC/MS	8	化審法
54	<i>N</i> -メチルジデカン-1-イルアミン	水質	LC/MS	0.002	化管法
55	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	大気	LC/MS	36	環境リスク 初期評価
56	2-メトキシ-5-メチルアニリン	大気	GC/MS	20	環境リスク 初期評価
57	りん酸(2-エチルヘキシル)ジフェニル	水質	GC/MS 及び LC/MS	0.015	化管法
58	りん酸ジ- <i>n</i> -プチル=フェニル	水質	GC/MS 及び LC/MS	0.026	化管法

平成 28 年度以降の調査要望物質のうち既存の分析法がある物質

No.	物質名	調査媒体	分析法	要望施策	要望理由
1	テレフタル酸	水質	GC/MS (H13 白本)	化審法	優先評価化学物質であり、第二種特定化学物質への指定について検討する必要があるが、近年の環境調査実績がないため。
2	p-ジクロロベンゼン	水質	GC/MS (H22 白本)		
3	1,3-ジクロロプロペン	水質	GC/MS (H26 白本)	化管法	第一種指定化学物質であるが、近年の環境残留実態が明らかではないため。
4	1-アミノ-9,10-アントラキノン	水質	LC/MS (H26 白本)		
5	ヘキサメチレンジアミン	水質	LC/MS (H26 白本)	環境リスク 初期評価	化学物質の環境リスク初期評価を実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。
6	エストロン	水質	LC/MS (H14 要調査 マニュアル)	EXTEND	EXTENDを実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。
7	5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジンジオン (別名:フェニトイン)	水質	LC/MS (H17 白本)		
8	トリス(2,3-ジブロモプロピル)ホスフェイト	大気	LC/MS (H25 白本)	大気環境	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質リストに選定されており、近年の大気媒体での調査実績もなく、有害性の基準値及び化管法に基づく届出排出量から推計した大気中濃度を踏まえ、健康リスクが高いと考えられたため。

注：分析法の欄の括弧内に記載したものは分析法が示された図書であり、「白本」とは「化学物質と環境 化学物質分析法開発調査報告書」を、「要調査マニュアル」とは「要調査項目等調査マニュアル」をそれぞれ意味する。

平成 28 年度以降の調査要望物質のうち分析法の開発が必要な物質

No.	物質名	調査媒体	要望施策	要望理由	備考
1	<i>N,N</i> -ジメチルアルカン-1-アミン=オキシド(アルキル基が直鎖であり、かつ炭素数が 10、12、14、16 又は 18 のもの)、(<i>Z</i>)- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9-エン-1-アミン=オキシド若しくは(9 <i>Z</i> ,12 <i>Z</i>)- <i>N,N</i> -ジメチルオクタデカ-9,12-ジエン-1-アミン=オキシド	底質 生物	化審法	優先評価化学物質であり、第二種特定化学物質への指定について検討する必要があるが、近年の環境調査実績がないため。	水質について 分析法開発中
2	-(<i>N</i> -ニルフェニル)- <i>N</i> -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (別名: (別名:ポリ(オキシエチレン)= <i>N</i> -ニルフェニルエーテル)	生物			水質は開発済み、底質については分析法開発中
3	テトラエチルチウラムジスルフィド (別名:ジスルフィラム)	底質 生物			水質について 分析法開発中
4	2,2'-ジチオビスピリジン- <i>N</i> -オキシド	水質 底質 生物			
5	2,2'-ジチオビスピリジンモノ <i>N</i> -オキシド	水質 底質 生物			
6	2,2'-ジチオビスピリジン	水質 底質 生物			
7	2-ピリジンスルホン酸	水質 底質 生物			
8	2-メルカプトピリジン	水質 底質 生物			
9	2-メルカプトピリジン- <i>N</i> -オキシド	水質 底質 生物			

No.	物質名	調査媒体	要望施策	要望理由	備考
10	ピリジン-N-オキシド	水質 底質 生物	化審法	優先評価化学物質であり、第二種特定化学物質への指定について検討する必要があるが、近年の環境調査実績がないため。	
11	ピリジン-N-オキシド-2-スルホン酸	水質 底質 生物			
12	ナフタレン	底質 生物			水質について 分析法開発中
13	(R)-4-イソプロペニル-1-メチルシクロヘキサ-1-エン (別名:リモンエン)	底質 生物			水質について 分析法開発中
14	1-ドデカノール	底質 生物			水質について 分析法開発中
15	ニトリロ三酢酸	生物			水質について 分析法開発中
16	[3-(2-エチルヘキシルオキシ)プロピルアミン]トリフェニルホウ素(III)	底質 生物			水質について 分析法開発中
17	トリフェニルホウ素(III)	底質 生物			水質について 分析法開発中
18	ベタナフトール	水質	化管法	第一種指定化学物質であるが、排出量が少なく指定の妥当性について検討する必要があるため。	
19	メタクリル酸 2-(ジメチルアミノ)エチル	水質			
20	酢酸 2-メトキシエチル	水質			
21	ジメチルジスルフィド	水質			
22	シアナミド	水質			
23	2-ビニルピリジン	水質			
24	ピリジン	水質 大気	化管法	第一種指定化学物質であるが、近年の環境残留実態が明らかではないため。	
25	3-メチルピリジン	水質			
26	1,1-ジクロロエチレン	水質			
27	2-エチルヘキサノ酸	水質			
28	グルタルアルデヒド	水質			
29	シクロヘキシルアミン	水質			
30	N,N-ジシクロヘキシルアミン	水質			

No.	物質名	調査媒体	要望施策	要望理由	備考
31	デシルアルコール	水質 底質	化管法	第一種指定化学物質であるが、近年の環境残留実態が明らかではないため。	水質について分析法開発中
12 (再掲)	ナフタレン	底質 生物			
32	ニトロベンゼン	大気			
33	1-ニトロピレン	水質 大気	環境リスク 初期評価	化学物質の環境リスク初期評価を実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。	
34	フルオランテン	底質		底生生物のリスク評価を検討する上で、ばく露情報が不足しているため。	
35	りん酸トリフェニル	水質	EXTEND	EXTENDを実施する上で、ばく露情報等が不足しているため。	
36	エチレンモノグリコールエチルエーテル	水質			
37	4-ビニル-1-ヘキセン	水質			
38	メタクリル酸	大気	大気環境	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質リストに選定されており、近年の大気媒体での調査実績もなく、有害性の基準値及び化管法に基づく届出排出量から推計した大気中濃度を踏まえ、健康リスクが高いと考えられたため。	
39	o-トルイジン	大気			
40	p-トルイジン	大気			